

平成 24 年 12 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
代表者名 代表取締役社長 富士本 淳
(J A S D A Q ・ コード 6425)
問合せ先 広報・IR室 部長付 堀内 信之
電話 03-5530-3055 (代表)

一部報道に関するお知らせ

本年 11 月 16 日及び同月 30 日に、ロイターが報道した記事について、当社としての見解をお知らせいたします。

ロイターは、あたかも当社がフィリピン関連事業に関して不正な資金等の提供を行っていたかの如く繰り返し執拗に報道していますが、これらの記事の内容には、ロイターが公平且つ適切な取材活動を行っていただければ容易に回避できたはずの事実誤認ないし偏見が含まれております。即ち、ロイターの当該報道は、あたかも、当社グループが、フィリピン関連事業について、2009 年 12 月から 2010 年 5 月までの間に、政府及び関係機関に対して何らかの名目で 4000 万米ドルもの巨額資金を提供したかのように報道していますが、明らかな事実誤認です。

なお、当社のフィリピン関連事業に係る事実関係は、当社のコンプライアンス委員会を通じて、米国ネバダ州のゲーミング当局に対しても既に報告済みの事項です。又、当社は、当社の元従業員に対して、問題があったと考えられる事項については損害賠償請求訴訟を提起しており、適時に適切な措置を講じております。

当社は、これまで、ロイターに対して、ウィン・リゾーツ社 (NASDAQ:WYNN) を始め当社グループが抱える法的紛争の他方当事者にとって不利な情報等も提供しておりますが、ロイターは、かかる情報には全く言及せず、本来何らの問題もない事項を当社に係る「疑惑」として仕立て上げ、事実関係の十分な確認と当事者に対する取材を欠いたまま、当社にとって殊更に不利な情報に加工して報道を行っており、その偏頗性は、これまで築かれてきたロイターの報道機関としての地位を貶めるものと言わざるを得ません。

なお、ロイターから当社に対して反対取材等の申し入れはあったものの、一方的に極めて短期の回答期限を設定し、本件が多国間に亘る多数の当事者間の多数の訴訟に関連し、多国の各種法令上の制約、及び契約上の守秘義務等を勘案した上で、正確且つ適切な回答を行う必要があることといった本件の事情を何ら考慮せず、当社が当該回答を行う為に必要な時間的猶予を与えない反対取材の申し入れは、実質的に当社に反論の機会を与えないものであって、公平性を装う為の偽装的な取材活動と言わざるを得ないと考えます。

繰り返しになりますが、ロイターが報道しているような不正行為は全く事実無根であり、当社グループは、近いうちにそのことが証明されるものと確信しております。

ロイターによる一連の報道は悪意に満ちたものであり、当社と致しましては、断固抗議するとともに、ロイターは当該偏向的報道によってもたらした損害について、全面的にその法的責任を負うべきものと考えられることから、同社に対し法的措置をとることも検討致します。

以 上